

製品の情報

今後必要になる場合がありますので、コンピュータのセットアップが終了したら、お買い上げの製品の情報をご記入ください。

リストの最初の4項目(モデル番号、製品番号、シリアル番号、およびソフトウェアのビルド番号)は、[ヘルプとサポート]から表示できます。起動時に表示される、[ウェルカム センタ]内にある、[ヘルプとサポート]→[システム情報]の順にクリック、または、起動時に[ウェルカムセンタ]を実行されない方は、**スタート ボタン**→[ヘルプとサポート]→[システム情報]の順にクリックします。オペレーティング システムは、**スタート ボタン**→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]の順にクリックすると、[コンピュータの基本的な情報の表示]の下の[Windows Edition]に表示されます。購入日については、購入元の納品書や保証書に記載されている印にてご確認ください。

なお、HPのサポート窓口にお問い合わせになる前に、以下の情報をお手元にご用意ください。

モデル番号:

例:n0000

システム(製品)番号:

例:ABCD-1234

シリアル番号:

(JPAで始まる10桁)

例:JPAxxxxxxx

ソフトウェア ビルド番号:

例:20070201

オペレーティング システム:

例:Windows Vista Home 32ビット版

購入日:

例:2007年3月31日

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HPの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Hewlett-Packard Company
P.O. Box 4010
Cupertino, CA 95015-4010
USA

Copyright © 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国/地域における商標または登録商標です。

HPはテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HPの製品を著作権法で許可されていない目的で使用するのを是認するものではなく、推奨もしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

サポート ガイド

HP Pavilion Desktop PC v7000、s3000シリーズ

初版 2007年3月

製品番号:5991-8439 Ver. B

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

ハードウェア限定保証規定	4	トラブルシューティングおよび	
保証範囲	4	メンテナンス	19
保証期間および保証サービス提供方法 ..	4	メンテナンス	19
保証サービスの種類	4	データ バックアップ ディスクの作成 ..	19
保証条件	4	システム リカバリ ディスクの作成	19
保証制限	5	使用していないプログラムの削除	19
HP Care Pack(有償サービス)	5	ディスク クリーンアップ プログラムの	
サービスをご利用になる前に必ず		実行	20
ご確認ください。	6	ディスク デフラグ プログラムの実行	22
ソフトウェア テクニカル サポート	6	ハードディスクドライブ エラーのチェック	24
HPへのお問い合わせ	7	ハードディスクドライブ領域について ..	25
ソフトウェア使用許諾契約書	8	推奨されるメンテナンス スケジュール ..	26
適合宣言書	11	コンピュータに関するトラブルの解決方法 ..	27
動作仕様	12	オーディオ	28
規定および安全に関する情報	12	ビデオ	29
国際エネルギー スター プログラム	12	CDDライブおよびDVDドライブ	29
HPリサイクル プログラム	13	ディスプレイ(モニター)	32
PCリサイクルシール	13	ハードディスクドライブ	32
その他の安全に関する情報	14	ハードウェアの取り付け	33
サポート情報	16	インターネット アクセス	34
お届け時の欠品・不具合について	16	キーボードおよびマウス	36
困ったときは	16	電源	38
ユーザ ガイドの場所	16	パフォーマンス	39
ソフトウェア サポート	16	その他	40
お客様へ	17	ソフトウェアの問題の修復	41
カスタマ サポート	17	ソフトウェアの修復の概要	41
お困りですか? HPIにお任せください ..	17	コンピュータの再起動	41
はじめに	18	コンピュータの電源切断	42
お客様による問題の解決	18	ドライバの更新	42
HPのサポート窓口へのお問い合わせ ..	18	Microsoftの[システムの復元]	43
		ソフトウェア プログラムおよび	
		ハードウェア ドライバの再インストール ..	46
		システム リカバリの概要	47
		リカバリ ディスクの作成	47
		システム リカバリのオプション	49
		リカバリ ディスクからの	
		システム リカバリの実行	51

ハードウェア限定保証規定

保証範囲

この保証規定は、HPというブランド名のもとで日本ヒューレット・パッカード株式会社(以下「HP」という)により製造・販売された製品のハードウェアに適用されます。HPというブランド名のもとで販売されたソフトウェア(ハードウェア製品にあらかじめインストールされているプログラムを含む)に関するHPの義務は、HP所定のエンドユーザ使用許諾契約書またはプログラム使用許諾契約書の規定に従います。HPは、この保証規定に基づきソフトウェアを修理または交換する義務を負いません。HPというブランド名以外のハードウェアおよびソフトウェア製品については、現状のまま提供されるものとしますが、その製品の製造元、供給元または発行元により独自の保証が提供されることがあります。

保証期間および保証サービス提供方法

この製品の保証期間は、電話サポート、電子メールサポートを含み、製品ご購入日から1年間です。(セットアップ時の電話サポートは、30日間です。)

この製品が保証期間内に故障した場合には、HPはクーリエ修理サービス(引き取り修理サービス)またはセンドバック修理サービスを無償提供いたします。

保証期間および保証サービスの提供方法は製品ごとに異なります。製品ごとの保証期間および保証サービスの提供方法は、『サービスをご利用になる前に必ずご確認ください』に記載されています。『サービスをご利用になる前に必ずご確認ください』およびこの保証規定は、その記載内容および規定が適用されるHP製品に添付されています。

保証サービスの種類

引取修理サービス

HP限定保証には、引取修理サービスが含まれていません。引取修理サービスでは、HPはおお客様の所在地から故障したHPハードウェア製品を引取し、修理後に返

送します。このサービスにかかる修理費用、輸送費用、および保険料は、すべてHPが負担します。

保証条件

HPは、お客様がHPまたはHP製品販売店から購入されたハードウェア製品について、保証期間中通常の使用条件のもとで、材質または製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間はご購入の日より開始し、製品を購入された日付、および販売店印など所定事項の記入のある保証書をご提示いただいた場合に限り保証を適用します。この保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が製品を転売された第三者には適用されません。また、消耗品については保証の対象とはなりません。HPは、保証期間中に製品が故障した場合に、HPの選択によりその製品を修理するか同等または同等以上の製品との交換をおこないます。修理には、新品または同等の性能を持つ再生部品を使用します。この保証に基づいて交換された部品および製品はすべてHPの所有となります。

この保証規定は日本国内においてのみ有効です。HP製品の保証およびサービス条件は、国ごとに異なります。すなわち、サービスが提供される国の保証およびサービス条件が適用されます。この保証規定は、HPまたはHP製品販売店で購入された製品にのみ適用されます。

この保証規定は、次に記載する事項が原因で損傷または故障した製品には適用されません。

- (a) 事故、製品の誤用、濫用、汚染、不適切または不十分な保守または較正、その他外的原因
- (b) 火災、自身、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因
- (c) 製品のユーザ マニュアルに記載されている動作条件の範囲外での使用
- (d) HPから提供されていないソフトウェア、インターフェース、部品、または販売した部品の使用
- (e) 製品の改造

(f) HPまたはHP正規保守代理店以外の者による修理、保守サービス、およびそれに類する行為

(g) 消耗品

(h) ウィルス感染

(i) 適切な設置環境が準備、維持されていない場合

(j) 運搬中の損失または損傷

HPは、保証対象製品の修理または交換をもって保証サービスを完了するもので、プログラム、データ、記録装置および記載媒体に対する損傷または記録損失についての責任を負いません。製品に記憶または記録されたデータやプログラムは、修理に際し破壊または消去される場合があります。この破壊または消去されたものの復元についてHPは責任を負いません。HPは、この保証規定に明示の規定を除く一切の明示または黙示の保証（商品性および特定目的への適合性に関する黙示の保証を含む）をしないものではありません。HPは、この保証規定に明記されていない一切の保証を否認します。法律により黙示の保証が適用される場合も、この保証規定に明示されたものに限られます。

保証制限

HPは、製品自体または製品が機能しないことによつて生じたいかなる損害（プログラムやデータの損傷および消失、逸失利益、付随的損害、派生的損害を含む）について責任を負いません。また、第三者からのまたは第三者のために成す、お客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

この制限は、損害賠償またはその他の請求がこの保証規定、不法行為（過失責任および厳格な製品責任を含む）、契約上の請求またはそれ以外の請求原因に基づくものであるかに拘らず、適用されるものとします。また、何人もこの制限について権利を放棄したり、変更することはできません。この責任の制限は、HPまたはHPの代理人がそのような損害の可能性についてお客様より事前に知らされていた場合においても有効とします。ただし、人身障害に対する賠償請求にはこの制限が適用されません。

HP Care Pack(有償サービス)

HP Care Pack(ケアパック)は、製品本体のハードウェア保守期間やサービスレベルを拡張するサービスです。

保証期間の延長

HP Care Packをご購入いただくと、保証期間のハードウェア保守期間を延長できます。

電話による無償テクニカルサポート期間の延長

HP Care Packをご購入いただくと、保証期間の電話による無償保守テクニカルサポート期間を延長できます。

修理費の低価格化・定額化

製品の標準保証期間が終了した後に故障した場合、故障箇所によっては思わぬ修理費用が掛かる場合があります。しかし、あらかじめHP Care Packをご購入いただくことで予定外の支出がなくなります。万一、二度目の故障が起こった場合でもHP Care Packの契約期間中は無償修理が提供されるので安心です。

迅速な修理

HP Care Packでは、あらかじめお客様登録をさせていただきますので、万一の故障の際に専用受付窓口が最小の時間で受付対応させていただきます。HP Care Packのご購入・ご登録がない場合には、保証書確認や有償修理の場合のお手続きなど所定の受付対応後に修理を承ります。

HP Care Packのご購入について

HP Care Packは、ハードウェア製品と同時あるいは1年以内にお買い求めください。HP Care Packのご購入については、HPまたは製品お買い上げの販売店にお問い合わせください。

詳しくはHPカスタマ・インフォメーションセンター（電話03-6416-6660）にお問い合わせください。

HP Care Packの詳細はHPのホームページ [http://www.hp.com/jp/carepack fixed/](http://www.hp.com/jp/carepack_fixed/) でもご案内しています。

サービスをご利用になる前に必ずご確認ください。

サービスやサポートを受ける前に何か準備が必要ですか

HPのサービスを効率よくお受けになるために、お電話の際には製品の保証書をお手元にご用意ください。

修理受付やテクニカルサポートの際には以下の情報をお客様にお尋ねいたします。

- 製品のシリアルナンバー、機種名および製品番号
- ハードウェア構成、ご使用のソフトウェアの種類とバージョン
- 表示されたエラー・メッセージ、お客様の行った操作など

製品の取扱説明書にトラブルの解決方法が記載されている場合がありますので、一度ご確認ください。また、HPは、インターネットで製品やサービスに関する情報を提供しています。お客様からよくいただくご質問に対する答えなども掲載しておりますので、HPのホームページ(http://www.hp.com/jp/support/pavilion_desk/)をご覧ください。

この保証にはどのような条件があるのですか。

HPIは、保証書をお客様からご提示いただいた場合に保証サービスを提供いたします。保証書は再発行いたしませんので保証規定と共に大切に保管してください。

製品の修理作業に際し、製品に記録されたデータやプログラムが破壊または消去される場合があります。HPIは、お客様のデータやプログラムの保存および復元についての責任を負いません。修理の前にはお客様がプログラムやデータのバックアップを取られることをお願いいたします。同様に修理後のバックアップデータの復元や、各種再設定はお客様にて行っていただきます。

保証期間は製品ご購入日から開始します。この製品が保証期間内に故障した場合には、HPまたはHP正規保守代理店が保証規定に基づいて修理サービスを行います。

ソフトウェア テクニカルサポート

HPソフトウェア、HPIによりプリインストールされた第三者製ソフトウェア、およびHPから購入した第三者製ソフトウェアに対するテクニカル サポートは、HPへの複数の連絡手段により、ご購入日から30日間受けることができます。ただし、すべてのソフトウェア製品にテクニカル サポートが提供されるものではありません。詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。連絡手段には電子メディアおよび電話による連絡が含まれます。オンライン リソースおよび電話によるサポートについては、「HPへのお問い合わせ」をご覧ください。例外事項はソフトウェア使用許諾契約に規定されます。

ソフトウェア テクニカル サポートが提供される場合には、以下の範囲に限定されます。

- インストールに関するご質問へのご回答(方法、開始手順、および要件)
- ソフトウェアのセットアップおよび設定(方法および開始手順)。システムの最適化、カスタマイズ、およびネットワークの設定は**除く**
- システム エラー メッセージの説明
- システムの問題とソフトウェア使用の問題の区別
- サポート パック情報またはアップデートの入手

ソフトウェア テクニカル サポートには以下のサポートは含まれません。

- ユーザにより生成されたプログラムまたはソースコードの生成または診断
- 非HP製品のインストール

HPへのお問い合わせ

お使いの製品が限定保証期間中に故障した場合は、以下の方法でサポートをお受けいただけます。

- サポート窓口については、HP Pavilionコール センタ(電話0120-330309)へお問合せください。
- サービスを効率よくお受けになるために、お電話の際には製品の保証書をお手元にご用意ください。修理受付やテクニカル サポートの際には、以下の情報をお客様にお尋ねいたします。
 - 製品のシリアルナンバー、機種名、および製品番号
 - ハードウェア構成、ご使用のソフトウェアの種類とバージョン
 - 表示されたエラーメッセージ、お客様の行った操作など

製品の取扱説明書にトラブルの解決方法が記載されている場合がありますので、一度ご確認ください。また、HPは、インターネットで製品やサービスに関する情報を提供しています。お客様からよくいただくご質問に対する答えなども掲載していますので、日本HPのホームページ(<http://www.hp.com/jp/>)をご覧ください。

HP Pavilionコール センタ

TEL 0120-330309
携帯電話/PHSからは 03-6830-1870

受付時間

月～金曜日 9:00～21:00
土曜日 9:00～17:00

(祝日、年末年始および5/1を除く)

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品を使用する前に、以下の条項をよくお読みください。

本ソフトウェア使用許諾契約書(以下「EULA」という)は、HPの製品(以下「HP製品」という)とともに使用するためにHPがインストールまたは提供した「ソフトウェア製品」のうちお客様とHP(またはそのサプライヤ)間の別途の使用許諾契約の適用を受けない「ソフトウェア製品」のお客様による使用に適用される、(a)お客様(個人または単一法人)と(b)Hewlett-Packard Company(以下「HP」という)との間の法的な契約書です。他のソフトウェアには、そのオンライン文書類の中にEULAが含まれている場合があります。「ソフトウェア製品」とは、関連媒体、印刷物、および「オンライン」または電子的文書類を含むコンピュータソフトウェアのことで、本「EULA」の補足または追加の規定が「HP製品」に添付されている場合があります。

「ソフトウェア製品」に関する権利は、お客様が本「EULA」の全ての条件に同意する場合にのみ提供されます。[同意する]ボタンを選択することによって、お客様は本「EULA」の条件に拘束されることに同意したものとみなされます。同意されない場合、本「EULA」の条件に同意されないことを示すボタンを選択し、インストール、複製、ダウンロードまたはその他の方法で「ソフトウェア製品」を使用しないでください。未使用の「ソフトウェア製品」およびお客様のHPハードウェアを、ご購入後14日以内に購入店までご返却いただければ、代金を全額返還いたします。

1. 使用許諾

お客様が本EULAの全条項を遵守することを条件として、HPは、お客様に、以下の権利を許諾します。

a. 使用

「ソフトウェア製品」は、単一のコンピュータ(以下、「お客様のコンピュータ」という)で使用できるものとします。「ソフトウェア製品」がインターネット経由でお客様に提供されたものであり、最初に複数のコンピュータでの使用が許諾されていた場合、「ソフトウェア製品」は、それらのコンピュータでのみインストールおよび使用できるものとします。本「ソフトウェア製品」の構成部分を切り離して、複数のコンピュータで使用することはできません。お客様には、本「ソフトウェア製品」を頒布する権利はありません。お客様は、「ソフトウェア製品」を使用するために、お客様のコンピュータの一時メモリ(RAM)に「ソフトウェア製品」を読み込ませることができるものとします。

b. 保存

お客様は、本「ソフトウェア製品」を「HP製品」のローカルメモリまたはストレージデバイスに複製することができるものとします。

c. 複製

お客様は、元の「ソフトウェア製品」のすべての財産権表示を損なわず、バックアップの目的でのみ使用することを条件に、「ソフトウェア製品」のアーカイブ用複製物またはバックアップ用複製物を作成できるものとします。

d. 権利の留保

本「EULA」において明示的にお客様に許諾されていない権利はすべて、HPおよびそのサプライヤが留保します。

e. フリーウェア

本「EULA」の条件に関わらず、全部または一部を問わず、HPの専有ソフトウェアではないソフトウェア製品または第三者による公有使用許諾に基づいて提供されたソフトウェアであるソフトウェア製品(以下「フリーウェア」という)は、個別契約、シュリンクラップ使用許諾、またはダウンロード時に同意される電子的使用許諾条件のいずれの形式であるかを問わずに、かかる「フリーウェア」に付随するソフトウェア使用許諾契約の条件に従うことを条件として、お客様に使用許諾されるものです。お客様による「フリーウェア」の使用には、すべてかかる使用許諾条件が適用されるものとします。

f. 復旧ソリューション

「HP製品」に付属して、または「HP製品」用として提供されたソフトウェア復旧ソリューションは、ハードディスクドライブベースのソリューション、外付け媒体ベースの復旧ソリューション(たとえば、フロッピーディスク、CD、DVDなど)、またはその他の形式で提供される同等のソリューションのいずれの形式であるかを問わずに、最初の購入時にその復旧ソリューションが提供された「HP製品」のハードディスクを復旧する場合にの

み使用できるものとします。かかる復旧ソリューションに含まれるMicrosoft®社オペレーティング システムソフトウェアの使用については、Microsoft社使用許諾契約書が適用されます。

2. アップグレード

アップグレードとして特定された「ソフトウェア製品」を使用するためには、お客様はまず、アップグレードの資格があるものとしてHPが認定した原「ソフトウェア製品」の使用許諾を取得しなければなりません。アップグレードの適用以降は、お客様は、アップグレードに関する資格の根拠となった、原「ソフトウェア製品」を使用できないものとします。

3. 追加ソフトウェア

HPが提供した原「ソフトウェア製品」のアップデートまたは追加ソフトウェアには、HPがこれらアップグレードまたは追加ソフトウェアと共に別途条件を提供する場合を除き、本「EULA」が適用されます。かかる条件がお互いに矛盾する場合は、別途提供された条件が優先します。

4. 譲渡

a. 第三者

「ソフトウェア製品」の初期ユーザは、一回に限り、「ソフトウェア製品」を他のエンド ユーザに譲渡できるものとします。いかなる譲渡にも、すべての構成部品、媒体、印刷物、本「EULA」、および、該当する場合は「Certificate of Authenticity」を含める必要があります。委託などの間接的な譲渡は許可されないものとします。譲渡に先立ち、譲渡される製品を受理するエンドユーザは、すべての「EULA」条件に同意する必要があります。「ソフトウェア製品」の譲渡に伴い、お客様の所有する使用許諾は自動的に終了します。

b. 制限

お客様は、「ソフトウェア製品」を賃貸、リース、または貸与できず、商業用目的でのタイムシェアリングまたはサービス ビューロでの使用を目的として、「ソフトウェア製品」を使用できないものとします。お客様は、本「EULA」に明示的に規定される場合を除き、ソフトウェア製品の使用を第三者に許諾したり、ソフトウェア製品を譲渡または移転したりできないものとします。

5. 財産権

「ソフトウェア製品」およびユーザマニュアル等の文書類に関するすべての知的財産権は、HPまたはそのサプライヤに帰属し、米国著作権、企業秘密、商標法、その他の適用される法律ならびに国際条約の規定によって保護されています。お客様は、「ソフトウェア製品」の識別、著作権表示、または財産権制限の記載を製品から除去してはならないものとします。

6. リバース エンジニアリングの制限

お客様は、「ソフトウェア製品」をリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アSEMBルできないものとします。ただし、この制限に関わらず、準拠法によって許可される場合、本「EULA」に明示的に規定されている場合はこの限りではありません。

7. 期間

本「EULA」は、終了または拒絶されない限り、効力を有するものとします。本「EULA」は、本「EULA」に規定された条件に基づいて、またはお客様が本「EULA」のいずれかの条件を遵守しなかった場合にも終了されず。

8. データ使用の承諾

お客様は、HPおよびその関連会社が、「ソフトウェア製品」に関するサポート サービスに関連してお客様が提供する技術情報を収集し、これを使用する場合があることに同意するものとします。HPは、このサービスの提供に必要な範囲以外で、この情報を、お客様を個人的に特定する形式において使用しないことに同意します。

9. 保証の否認

準拠法によって許可される最大限の範囲において、HPおよびそのサプライヤは、「ソフトウェア製品」を、「現状有姿」の状態ですべての「瑕疵を問わない条件」で提供します。HPおよびそのサプライヤは、明示的もしくは黙示的であるかまたは制定法によるかを問わず、「ソフトウェア製品」に関し、財産権および非侵害に対する保証、ならびに、市場性、特定目的への適合性、およびウイルスに汚染されていないことに対する黙示的保証、義務または条件を含む(ただしこれらに限定されません)、他の一切の保証および条件を否認します。州/管轄地域によっては、黙示的保証の除外または黙示的保証の期間限定が許可されていない場合もあ

ります。その場合は、上記の保証の否認はお客様には適用されません。

10. 責任限定

お客様が被ることになる損害に関わらず、本「EULA」の規定に基づくHPおよびそのサプライヤの全責任、および上記すべてに関するお客様への唯一の救済は、お客様が「ソフトウェア製品」に対して実際に別途支払った金額または5米ドルのうちいずれか大きい方の金額を限度とするものとします。準拠法によって許可される最大限の範囲において、HPまたはそのサプライヤは、いかなる場合であっても、「ソフトウェア製品」の使用もしくは使用不能に関連して発生する、あるいはその他本「EULA」の規定に関連して発生する特別損害、付随的損害、間接的損害、または派生的損害(利益の喪失、秘密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、およびプライバシーの喪失による損害を含むが、これらに限定されない)については、HPまたはいずれかのサプライヤがこれらの損害発生の可能性を通知されていた場合であっても、また、お客様への救済がその本来の目的を達成できない場合であっても、一切責任を負わないものとします。州/管轄地域によっては、付随的損害または派生的損害の除外または制限が許可されていない場合もあります。その場合は、上記の制限または除外はお客様には適用されません。

11. 米国政府顧客

FAR12.211 および 12.212 に合致して、商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェア文書類、および商用品の技術データは、HP標準の商用使用許諾に基づき、米国政府に使用許諾されます。

12. 輸出法の遵守

お客様は、米国およびその他の国のすべての法律および規則(以下「輸出法」という)を遵守して、「ソフトウェア製品」が、(1) 直接もしくは間接を問わず、「輸出法」に違反して輸出されないこと、または(2) 核兵器、化学兵器、または生物兵器の拡散を含み(ただしこれらに限定されない)、輸出法によって禁止されているいかなる目的のためにも使用されないことを保証するものとします。

13. 契約の能力と権限

お客様は、居住している国/州/地域において法的な成人年齢に達していること、また、該当する場合、お客様はお客様の雇用者より本契約締結に関する正当な権限を与えられていることが、必要です。

14. 準拠法

本「EULA」の準拠法は米国カリフォルニア州法とします。

15. 完全な契約

本「EULA」(「HP製品」と共に提供される本「EULA」の追加または修正の規定を含む)は、「ソフトウェア製品」に関するお客様とHPとの間の完全な契約であって、「ソフトウェア製品」または本「EULA」が扱うその他の事項に関して、口頭または書面を問わずになされた、従前のまたは現時点の連絡事項、提案事項、および表明事項のすべてに優先するものです。HPのポリシーまたはサポート サービス用プログラムの条件が、本「EULA」の条件と矛盾する場合には、本「EULA」の条件が優先して適用されます。

適合宣言書

ISO/IEC 17050-1およびEN 17050-1準拠

供給者名: Hewlett-Packard Company
供給者所在地: Hewlett-Packard Company
10500 Ridgeview Court
Cupertino, CA. 95014

は、以下の製品

製品: パーソナル コンピュータ
モデル番号: a000、a1000、a5000
d1000、d4000
t000、t3000
m000、m1000、m5000、m7000、m8000
S0000、SR1000、SR5000、SA4000、s3000、s7000
w1000、w5000
x5000、z500、IQ700シリーズ
製品オプション: すべて(再製品を含む)

が以下の製品規格に適合することを宣言します。

安全: IEC 60950-1:2001 / EN60950-1: 2001
IEC 60825-1:1993+A1 / EN 60825-1:1994+A11 Class 1 (Laser/LED)
GB4943: 2001

電波: CISPR 22: 1997 / EN 55022: 1998 +A1:2000 +A2:2003, Class B
CISPR 24: 1997 / EN 55024:+1998 +A1:2001 +A2:2003
EN 55020:1995
EN 55013:2001
IEC 61000-3-2:2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3:1994 + A1: 2001 / EN 61000-3-3: 1995 + A1: 2001
GB9254: 1998
FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B / ICES-002, issue 2
AS/NZS CISPR 22: 2004

電気通信:TBR 21: 1998, EG 201 121: 1998

無線: ETSI 300-826 General EMC requirements for Radio equipment
ETSI 300-328 Technical requirements for Radio equipment

補足情報:

また、これらの製品は、低電圧指令(73/23/EEC)、EMC指令(89/336/EEC)およびR&TTE指令(1999/5/EC)に準拠し、それにより「CEマーキング」を実施しています。

この装置は、FCCルールPart 15に準拠しています。以下の2つの条件に従って動作します。(1)本装置が有害な干渉を発生しない、および(2)本装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、受信したすべての干渉を受け入れなければならない。

連絡窓口(規制準拠の情報に限る)

オーストラリア:Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Pty Ltd., 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130

ヨーロッパ:Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Böblingen, Germany (FAX: +49-7031-14-3143)

北米:Hardware Quality Eng. Manager, Hewlett-Packard, CPC, 10500 Ridgeview Ct., Cupertino, CA 95015-4010. Phone: (408)-343-5000

動作仕様

定格電源:	AC入力 100~127V \sim 、3A、4Aまたは6A* 200~240V \sim 、2Aまたは3A*
	50/60 Hz
温度(動作時):	5~35°C
温度(非動作時):	-30~65°C
動作保証湿度:	15~80%(26°Cの場合)
標高(動作時):	0~2000 m
標高(非動作時):	0~4572 m

*正確な定格電源については、コンピュータの背面にある定格ラベルを参照してください。

規定および安全に関する情報



警告:この形式の文章は、その指示に従わないと、装置の損傷、データの損失、人体への傷害、または生命の危険を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。



警告:コンピュータは重いものですので、移動する場合は、人体への負担の少ない方法で持ち上げてください。



警告:コンピュータを設置して電源に接続する前に、このマニュアルに記載されている「その他の安全に関する情報」をお読みください。

コンピュータに内蔵されているバッテリーは家庭用ごみとして捨てないでください。内蔵バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

2005年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有に付きまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示に付きましては、[http://www.hp.com/go/jisc0950/](http://www.hp.com/go/jisc0950)を参照してください。

国際エネルギー スター プログラム

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。



このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。

ENERGY STAR®は、米国政府が所有する登録商標です。

HPリサイクル プログラム

HPでは、使用済みのHP製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。

規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HPのリサイクル プログラムについては、HPのWebサイト(<http://h50055.www5.hp.com/ipg/supplies/recycling/hardware/jp/ja/household.asp>)を参照してください。

注:コンピュータに内蔵されているバッテリーは家庭用ごみとして捨てないでください。内蔵バッテリーを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

PCリサイクルシール

「資源有効利用促進法」に基づき、ご家庭で使用済みとなったパソコンの、メーカー等による回収および再資源化がスタートしました。日本HPでは、個人のお客様の購入比率が高い本製品を家庭系パソコンリサイクル対象商品とし、PCリサイクルシールを製品本体に貼付して出荷しています。本シールの貼付された弊社製品が不要となった場合には、弊社にて回収再資源化を無償で実施します。

PCリサイクルシールには登録ナンバーが印字されており、絶対にはがさないでください。万一、本シールをはがしたり紛失したりされますと、排出時に回収再資源化料金をご負担いただく場合がございます。

排出時の連絡先

日本ヒューレット・パッカード株式会社
家庭系PCリサイクル窓口

- 電話番号:0120-152523
- FAX番号:045-441-2556
- e-mail:pc-recycle@isp21.co.jp
- 受付時間:
月～金10:00～12:00/13:00～17:00
(休日:土、日、祝日、および年末年始等当社の休日)

※電話番号などの連絡先は、予告なく変更となる場合があります。その節はご容赦願います。



警告:この装置を使用する時は、火傷や感電、火災を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 湿気の多い場所では、この装置を使用しないでください。
- 雷が鳴っているときは、この装置を使用しないでください。落雷による感電の恐れがあります。
- この装置は、ガス漏れの発生を通報する場合には、現場では使用しないでください。使用する場合は、ガス漏れの現場から十分に離れてください。
- 装置を開けたり、絶縁されていないモデム ケーブル、コネクタ、または内部部品に触れたりする場合は、必ず電話のケーブルを抜いてから作業を行ってください。
- この装置に電話回線コードが付属していない場合は、**AWG26**以上の太さの電気通信回線コードを使用してください。
- モデム ケーブルや電話線をネットワーク インタフェース カード(NIC)コネクタに差し込まないでください。

その他の安全に関する情報

本製品は、IT電源システム(IEC 60950に基づく、アースに直接接続されていないAC配電システム)への接続テストは行っていません。

AC電源の安全に関する警告



警告:電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。電源コードは、お使いのコンピュータを外部電源に接続するための主要な装置です。安全に使用していただくために、コンピュータに付属の電源コードにはアース端子が付いています。感電を防ぐため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。



警告:お使いのコンピュータには、115V_{AC}または230V_{AC}の電力システム用の電圧選択スイッチが搭載されています。電圧選択スイッチは、そのコンピュータを購入した国/地域の電圧に設定されています。電圧選択スイッチの位置を変更すると、コンピュータが損傷し、黙示の保証が適用されない場合があります。



警告:電話回線からの感電を防ぐため、コンピュータを電話線に接続する時は、先に電源コンセントに接続してください。また、電源コンセントからコンピュータを取り外す前に、電話線を抜いてください。



警告:コンピュータのカバーを取り付けたり取り外したりする前に、必ず電話回線からモデム ケーブルを抜いてください。



警告:カバーを取り外したままコンピュータを動作させないでください。



警告:コンピュータの点検作業を行う時は、必ず電源、電気通信システム(電話回線など)、ネットワーク、モデムなどから取り外してください。取り外さないと、けがや装置の損傷を引き起こすことがあります。本製品の電源装置およびモデム内は電圧が高くなっています。

リチウム バッテリに関するご注意



警告:このコンピュータには、CR2032タイプのリチウム バッテリが使用されています。間違った種類のバッテリーを取り付けると、バッテリーが破裂する恐れがあります。必ず、同一タイプまたは製造販売元が推奨する同等品と交換してください。使用済みのバッテリーは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。

レーザー安全基準について

Class 1 LED製品

CDおよびDVDドライブにはレーザー システムが内蔵されているため、米国放射線規制法(Radiation Control for Health and Safety Act of 1968)に基づき、米国保健社会福祉省(DHHS)の放射線基準でClass 1レーザー装置として分類されます。

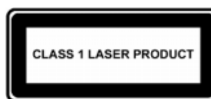
製品の保守作業が必要になった場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。



警告:『アップグレード ガイド』に記載されていない方法で調整などの作業を行うと、放射線をあびる危険性があります。レーザー光線を直接あびることを防ぐため、CDまたはDVDドライブの内部を開けることはお止めください。

レーザー製品ラベル

以下のラベルまたは同等のものがレーザー製品に貼付されています。



このシステムは、Class 1レーザー装置として分類されます。左記のラベルがレーザー装置に貼付されています。

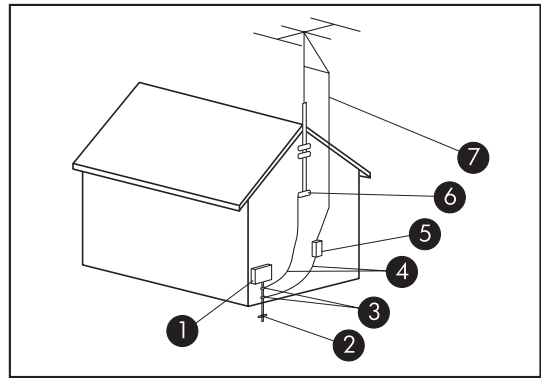
テレビ アンテナ コネクタの保護

屋外のテレビ アンテナの接地

製品に屋外のアンテナやケーブル システムを接続している場合は、アース端子を使用して接地することで、サージ電圧や静電気の蓄積から保護してください。米国電気工事規程 (NEC) の810条、ANSI/NFPA70は、支柱と支持装置の適切なアース、引き込み線のアンテナ放電ユニットへのアース、アース用導体のサイズ、アンテナ放電ユニットの位置、アース電極の接続、アース電極の要件などを定めています。

雷からの保護

雷雨の間、または無人になり長期間使用しないときの製品の保護として、製品のプラグを壁コンセントから抜き、アンテナおよび配線システムを取り外してください。これにより、雷雨や電力線のサージによる製品の損傷を防ぎます。



アンテナの接地

アンテナの接地

番号	接地するコンポーネント
①	電源供給装置
②	電源供給アース電極システム (NEC第250条のH)
③	接地クランプ
④	接地線 (NEC第810-21節)
⑤	アンテナ放電ユニット (NEC第810-20節)
⑥	接地クランプ
⑦	アンテナの引き込み線

電力線

室外アンテナ システムは、送電線やその他の電気回路、電力回路の付近、またはそれらに落下する恐れのある場所には設置しないでください。



警告: 室外アンテナ システムを設置する時は、電力線や電力回路に触れないように慎重に行ってください。接触すると生命に危険を及ぼす恐れがあります。

サポート情報

お届け時の欠品・不具合について

HPは、製品ご購入直後の欠品や、着荷時不具合にできるだけ速やかに対応いたします。ご購入されましたらすぐに、同梱の①かんたんスタートガイドと照らし合わせ、同梱物に不足品がないかをご確認ください。

製品ご購入後7日以内に製品に不具合が発生した場合や、万が一欠品があった場合には、保証書をお手元にご用意の上、HP Pavilionコール センタまでご連絡ください。HPにて不具合状況を確認させていただき、修理対応や欠品補充などのサポートをいたします。

なお、付属されているCDや登録カード、保証書類は、紛失されても再発行はできません。欠品がないことを十分にご確認の上、保証書、本書等と一緒に大切に保管してください。

困ったときは

情報を入手したり、サポート窓口にお問い合わせたりする場合は、以下の順序で行います。

- 1 コンピュータのセットアップおよび使用方法については、『かんたんスタート ガイド』および製品のマニュアルを確認します。
- 2 ハードウェアおよびソフトウェアについて調べるには、[Windowsヘルプとサポート]を使用します。スタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックします。[Windowsヘルプとサポート]には、役立つトラブルシューティング情報や以下のような情報が含まれています。
 - コンピュータを登録するページへのリンク
 - お使いのコンピュータの製品番号、モデル番号、およびシリアル番号などのシステム情報
 - 電子メールでサポートを受ける方法
 - 認定を受けたサポート担当者への連絡方法
 - サポート窓口の電話番号
 - お使いのコンピュータのユーザ ガイドへのリンク

- 3 ハードウェアに問題があると考えられる場合は、サポート窓口にお問い合わせの前に、コンピュータにあらかじめインストールされている診断ツール、PC-Doctorを実行します。スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[PC-Doctor]の順にクリックします。
- 4 技術情報や最新ソフトウェアは、インターネットのHPサポート サイトhttp://www.hp.com/jp/support/pavilion_desk/で入手します。
- 5 問題が解決しない場合は、以下の電話番号でHPのサポート窓口にお問い合わせください。

TEL:	0120-330309
携帯電話から:	03-6830-1870
月～金曜日:	午前9時～午後9時
土曜日:	午前9時～午後5時
(祝日、年末年始および5/1を除く)	

ユーザ ガイドの場所

ユーザ ガイドは、同梱のメディア ライブラリCDから閲覧することができます。または、http://www.hp.com/jp/support/pavilion_desk/で、お使いのモデルのサポートページを検索して入手することもできます。

ソフトウェア サポート

お使いのソフトウェアについて質問がある場合は、ソフトウェアの製造販売元に問い合わせるか、製造販売元のWebサイトを参照してください。問い合わせ先およびWebアドレスは以下のとおりです。これらのWebアドレスは、Internet Explorerの[お気に入り]リストに含まれていることもあります。以下に情報がない場合は、電話サポートおよび電子メール サポートが実施されていない可能性があります。記載されていないソフトウェアについては、HPのサポート窓口による30日間の限定サポートが適用されます。以下のソフトウェアは、お使いのコンピュータにインストールされていない場合もあります。

Adobe Reader

<http://www.adobe.co.jp/>

Norton Internet Security by Symantec

<http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/>

Roxio

<http://www.roxio.jp/>

Yahoo!

<https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback/>

INFO.TV Plus ドコデモTV2クライアント

<http://www.elsa-jp.co.jp/support/index.html>

Jword

<http://www.jword.jp/help/>

ジャストシステム ジャストホームEX2 for HP BeatJam

- ユーザ登録に関するお問い合わせ

ユーザ登録ご相談窓口

受付時間: 平日10:00~19:00

土・日・祝日10:00~17:00(特別休業日を除く)

TEL: 東京 03-5412-2624 大阪 06-6886-2624

ホームページ:

<http://www.justsystem.co.jp/service/>

- 製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

*サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間: 平日10:00~19:00

土・日・祝日10:00~17:00(特別休業日を除く)

TEL: 東京 03-5412-3980 大阪 06-6886-7160

ホームページ: <http://support.justsystem.co.jp/>

お客様へ

このたびは、HPのデスクトップ コンピュータをご購入いただきありがとうございます。HPのコンピュータは、開発中に数多くの品質テストを通過することで厳しい品質基準を満たしています。HPはこの厳しい基準により、品質と信頼性の高さを認められています。

HPでは、広範囲におよぶ品質テストを行うことで、すべてのコンピュータが工場出荷前に正しく動作することを確認しています。さらに、コンピュータに貼付した

品質保証シールにより、工場出荷後に不正な変更が行われていないことを示しています。

HPでは、製品の拡張およびアップグレードが、すべてのお客様にとって役立つものと考えております。HP製のコンピュータは、お客様のニーズに合わせてアップグレード可能です。

ハードウェアのアップグレードは、コンピュータのセットアップが完了してから初めて行えます。セットアップの方法については、製品に付属の『かんたんスタート ガイド』を参照してください。システムのセットアップおよび電源投入に関するトラブルが発生した場合は、直ちにこのサポート ガイドに記載されているHPのサポート窓口にお問い合わせください。この作業は、システムのアップグレードを開始する前に、最初に行う必要があります。

コンピュータ背面のセキュリティ シールを破ることで、お客様は、システムのアップグレードを開始する前にコンピュータの動作が正常であると確認したことになります。セキュリティ シールを破った時点で、法規上許される範囲内において、「ハードウェア限定保証規定」に示されている条件が適用されます。

このたびは、HP製品をお買い上げいただきありがとうございました。本製品を有意義にご活用いただければ幸いです。

カスタマ サポート

HPカスタマ サポートを利用することで、コンピュータを最大限にご活用いただけます。コンピュータに搭載されているツール、Webの情報、電話サポート、またはお近くの販売代理店から、必要な情報を入手できます。

お困りですか? HPにお任せください

このコンピュータは、お買い上げいただいた時から長期間にわたって正常に機能するように設計されています。ただし、複雑で高性能な装置のため、場合によっては、故障する可能性もあります。その時は、HPにお任せください。

はじめに

コンピュータのセットアップおよび使用方法については、『かんたんスタート ガイド』および『セットアップ ガイド』の「コンピュータの準備」を参照してください。

お客様による問題の解決

コンピュータには、役に立つ情報が数多く含まれています。まずはWindows®のヘルプを参照してください（スタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックことでアクセスできます）。ここでは、情報をより詳しく参照でき、問題解決のヒントを得ることができます。

[Windowsヘルプとサポート]では、お使いのコンピュータに関するHPからの最新情報を入手できます。また、HPから随時お届けするアップデート情報もご確認ください。

次に、HPのWebサイトをご利用ください。HPのWebサイトには最新ソフトウェア、使用に関するヒントやテクニック、よくある質問と回答、その他の情報が掲載されています。このマニュアルに記載されているサポートWebサイトに移動し、お使いのコンピュータのモデルを検索してください。

HPのサポート窓口へのお問い合わせ

最後に、ここまでの方法で問題が解決されない場合は、お住まいの地域のHPのサポート窓口で専門の担当者にお問い合わせください。セットアップに関する電話サポートは、コンピュータの購入時から30日間無料で提供いたします。その後は、料金が発生する場合がありますが、サポートは引き続きご利用いただけます。

修理が必要な場合

コンピュータの修理、または部品の交換が必要な場合は、HPのサポート窓口が作業を手配します。

このサービスは、保証期間中適用されます。

この保証には、一部制限および例外事項（ならびに重要な詳細事項）があります。詳しくは、4ページの「ハードウェア限定保証規定」を参照してください。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

トラブルシューティングおよびメンテナンス

メンテナンス

このセクションで説明する作業を行うことで、お使いのコンピュータのトラブルを防止できます。また、将来トラブルが発生した場合に、重要な情報を簡単に復元できます。

データ バックアップ ディスクの作成

お使いのコンピュータにインストールされているCDまたはDVD作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メール メッセージ、およびWebサイトのブックマークなどの重要な情報のバックアップ ディスクを作成できます。

バックアップ ディスクへのデータの書き込みには、書き込み検証機能のあるソフトウェアを使用してください。

この検証機能とは、ハードディスク上のデータとディスクにコピーされたデータを比較し、正確なコピーであるかどうかを確認するものです。ディスク作成ソフトウェアの種類によっては、この機能を手動で有効にする必要があります。

システム リカバリ ディスクの作成

これは、お使いのコンピュータが正常に動作している時に1回だけ実行する必要がある作業です。将来、コンピュータにトラブルが発生した場合に、作成したシステム リカバリ ディスクを使用して元の構成に復元できます。

リカバリ ディスクを作成する時は、まず47ページの「システム リカバリの概要」を読んでから、47ページの「リカバリ ディスクの作成」の説明に沿って操作してディスクを作成してください。

使用していないプログラムの削除

1 スタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。

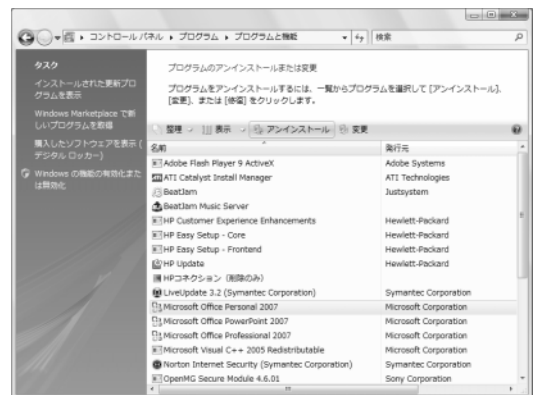


2 [プログラムのアンインストール]をクリックします。



[プログラムと機能]ウィンドウが開きます。

3 削除するプログラムを選択し、[アンインストール]をクリックします。



4 画面の説明に沿って操作します。

注:独自の削除機能を持つプログラムもあります。[コントロール パネル]からプログラムを削除できない場合は、プログラムを使用して削除できるか試してみてください。

ディスク クリーンアップ プログラムの実行

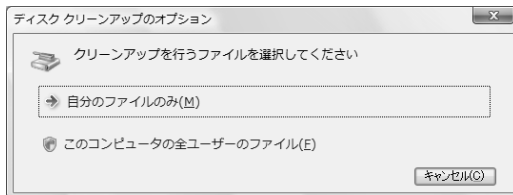
ディスク クリーンアップ プログラムにより、一時ファイルや使用されていないファイル(インターネット一時ファイル、ごみ箱内のファイルなど)が削除され、ハードディスクドライブの領域が解放されます。ディスク クリーンアップは、手動で実行することも、自動で実行されるように設定することもできます。

手動でのディスク クリーンアップの実行

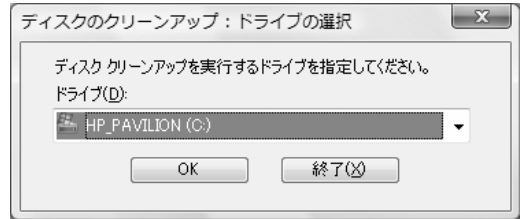
- 1 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順にクリックします。



- 2 クリーンアップを行うファイルを選択します。



- 3 ドライブを選択し、[OK]をクリックします。

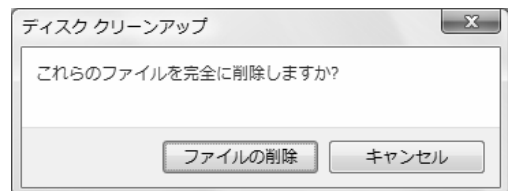


ディスク クリーンアップにより、削除するファイルが検索され、どれだけのディスク領域を確保できるかが計算されます。

- 4 表示されたファイルの種類のうち、削除するファイルのチェック ボックスにチェックを入れ、[OK]をクリックします。



- 5 [ファイルの削除]をクリックします。



選択したファイルの削除が完了します。

自動ディスク クリーンアップのスケジュール設定

- 1 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[タスク スケジューラ]の順にクリックします。

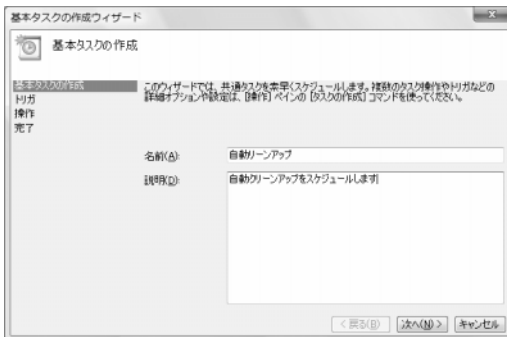


[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 2 [続行]をクリックします。
- 3 [操作]で[基本タスクの作成]をクリックします。



- 4 タスクの名前および説明(オプション)を入力し、[次へ]をクリックします。

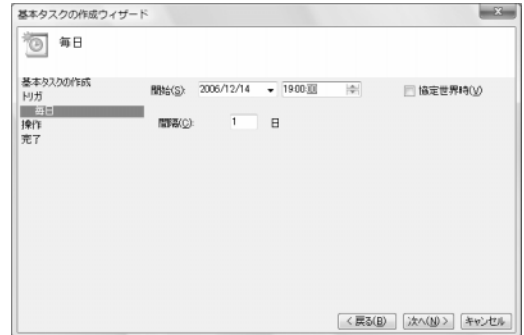


- 5 ディスク クリーンアップを実行するタイミングを選択し、[次へ]をクリックします。

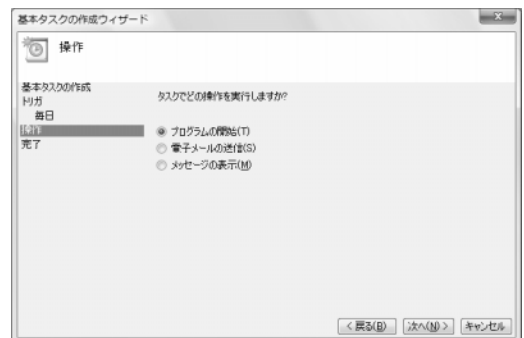


- 6 ディスク クリーンアップを実行する時刻を選択し、[次へ]をクリックします。

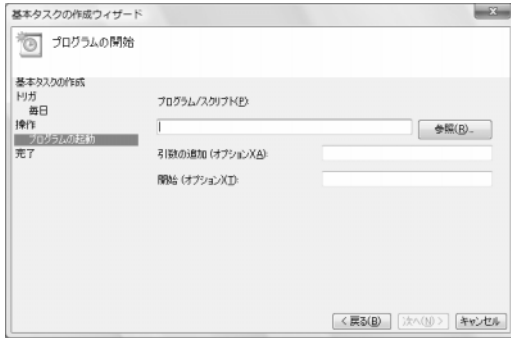
ディスク クリーンアップには時間がかかる場合があるため、コンピュータが起動しており、使用されていないタイミングを選択してください。



- 7 [プログラムの開始]を選択し、[次へ]をクリックします。



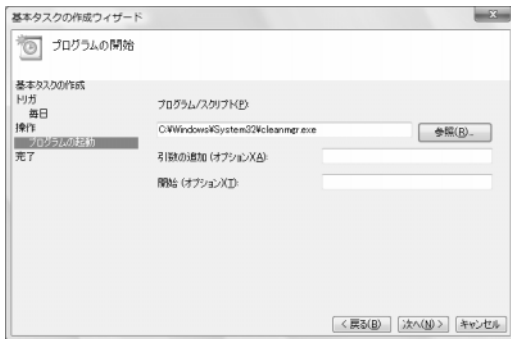
8 [プログラム/スクリプト]で、[参照]をクリックします。



9 「cleanmgr.exe」と入力し、[開く]をクリックします。



10 [次へ]をクリックします。



11 設定したスケジュールの概要を確認し、[完了]をクリックします。



設定したタイミングで、ディスク クリーンアップが実行されます。

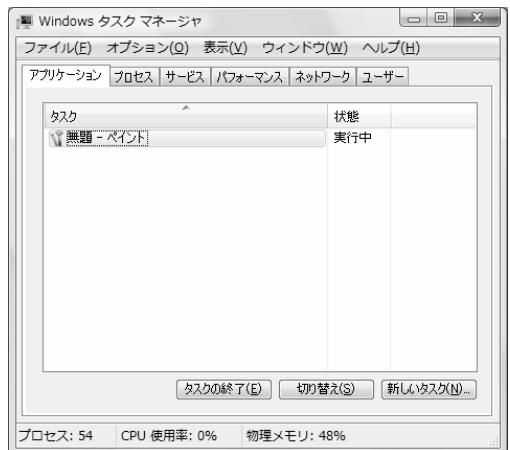
ディスク デフラグ プログラムの実行

Windowsによりハードディスク ドライブ上にファイルが格納される時、ドライブ上の使用可能領域に収まるように、ファイルが複数の断片(フラグメント)に分割されます。断片化されたファイルを開こうとすると、複数の場所から情報を取得する必要があるため、処理に時間がかかります。

ディスク デフラグ プログラムは、ハードディスクドライブ上の断片化されたファイルをグループ化し、コンピュータのパフォーマンスを高めます。このプログラムを実行しても、コンピュータ上のファイルやフォルダの場所には影響はありません。

注:ディスク デフラグ プログラムは、完了するまでに時間がかかる場合があります。夜間に、無人で実行することもできます。

- 1 [Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します。
- 2 [タスク マネージャの起動]をクリックします。
- 3 [アプリケーション]タブで、表示されているすべてのプログラムを選択し、[タスクの終了]をクリックします。



- 4 [タスク マネージャ]を閉じます。

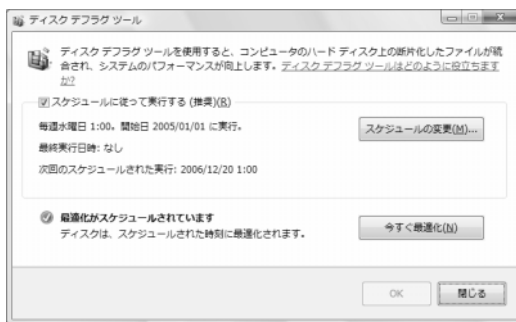
- 5 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ ツール]の順にクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 6 [続行]をクリックします。

- 7 [今すぐ最適化]をクリックします。



ディスク デフラグ ツールが繰り返し起動される場合は、見えないプログラムがバックグラウンドでハードディスク ドライブにアクセスし続けています。コンピュータをセーフ モードで再起動し、ディスク デフラグ プログラムを再度実行してください。

- 1 スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[再起動]の順にクリックします。



- 2 最初のロゴ画面が表示されたら、すぐに[F8]キーを押します。

- 3 [Windows拡張オプション メニュー]で、矢印キーを使用して[セーフ モード]を選択し、[Enter]キーを押します。

- 4 もう一度[Enter]キーを押し、オペレーティング システムを選択します。

- 5 Windowsにログオンします。[デスクトップ]メッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。セーフ モードが続行します。

- 6 Windowsが起動したら、前述の手順でディスク デフラグ プログラムを実行します。

ハードディスク ドライブ エラーのチェック

Windows Vista™でハードディスク ドライブの整合性をチェックするには、以下の手順で操作します。ディスクのチェックを開始する前に、すべてのプログラムを閉じてください。

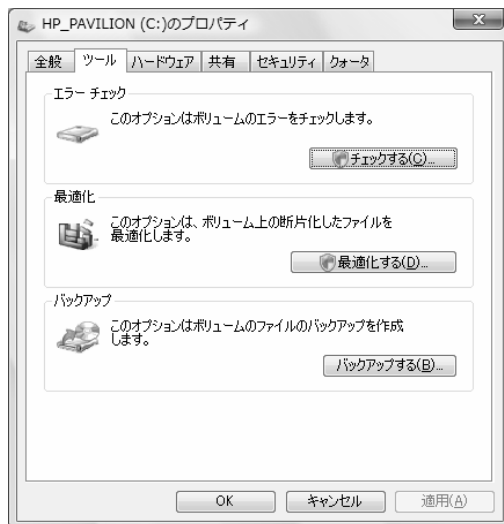
- 1 スタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。



- 2 開いたウィンドウで、チェックするハードディスク ドライブを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

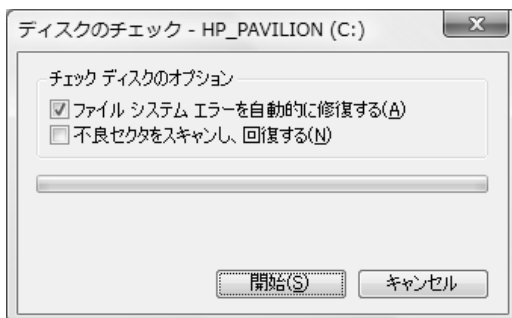


- 3 [プロパティ]ウィンドウで[ツール]タブをクリックし、[エラー チェック]で[チェックする]をクリックします。

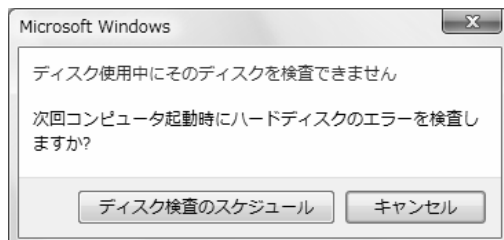


[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 4 [続行]をクリックします。
- 5 必要な場合は、[ファイル システム エラーを自動的に修復する]および[不良セクタをスキャンし、回復する]のチェック ボックスにチェックを入れます。



- 6 [開始]をクリックします。
- 7 [ディスク検査のスケジュール]をクリックします。



次回コンピュータ起動時に、ハードディスク ドライブのエラーが検査されます。

ハードディスクドライブ領域について

Windows Vistaオペレーティング システムがあらかじめインストールされたHPコンピュータでは、搭載されているハードディスクドライブの大きさが、説明書または箱に記載された製品仕様の数字よりも小さいように思われる場合があります。製造販売元は、ハードディスクドライブをデシマル(10進法)で記載および公示しています。一方、WindowsやFDISKなどのその他のプログラムは、バイナリ(2進法)を使用します。

10進法表記では、1メガバイト(MB)は1,000,000バイトで、1ギガバイト(GB)は1,000,000,000バイトです。2進法表記では、1メガバイト(MB)は1,048,576バイトで、1ギガバイト(GB)は1,073,741,824バイトです。測定システムの違いにより、Windowsによって表示されるサイズと公示されているサイズとに差異が生じる場合があります。ハードディスクドライブの記憶領域は、公示されているとおりです。

Windowsエクスプローラ ツールおよび[コンピュータ]ウィンドウでは、容量がこれより小さく表示されます。これは、ハードディスクドライブ上のパーティションごとの情報が表示されるためです。最初のパーティションには、システムの復元に関する情報が格納されています。

推奨されるメンテナンス スケジュール

毎日	毎週	毎月	3か月ごと
電子メールの管理 <ul style="list-style-type: none"> 不明な送信者からの電子メールを削除します 不審な添付ファイルは開かないでください 電子メールを整理します 	ウイルス、アドウェア、およびスパイウェアからの保護 <ul style="list-style-type: none"> 定義ファイルを更新するか、自動更新を毎週行うようスケジュールを設定します ウイルス、アドウェア、およびスパイウェアのフル スキャンを実行するか、自動更新を毎週行うようスケジュールを設定します 	Windows Updateの使用 <ul style="list-style-type: none"> 更新を確認するか、自動更新を毎月行うようスケジュールを設定します (詳しくは、『セットアップ ガイド』の「コンピュータの準備」を参照してください) 	新しいパスワードの設定 (詳しくは、『セットアップ ガイド』の「コンピュータの準備」を参照してください)
	パフォーマンスの最適化 <ul style="list-style-type: none"> ディスク クリーンアップを実行します (20ページの「ディスク クリーンアップ プログラムの実行」を参照してください) ディスク エラーをチェックします (23ページの「ハードディスク ドライブ エラーのチェック」を参照してください) ディスク デフラグ ツールを実行します (22ページの「ディスク デフラグ プログラムの実行」を参照してください) 	スタート メニューの確認 <ul style="list-style-type: none"> 必要なアプリケーションのみが起動するように設定します 	
	ブラウザの最適化 <ul style="list-style-type: none"> Cookieを削除します キャッシュを削除します 履歴ファイルを削除します 	デスクトップのクリーンアップ <ul style="list-style-type: none"> 不必要なアイコンおよびアプリケーションを削除またはアンインストールします (19ページの「使用していないプログラムの削除」を参照してください) 	
	ごみ箱を空にする <ul style="list-style-type: none"> この作業やその他のクリーンアップ作業は、ディスク クリーンアップ プログラムで実行できます (20ページの「ディスク クリーンアップ プログラムの実行」を参照してください) 	全体的な状態のメンテナンス <ul style="list-style-type: none"> 清潔かどうかをチェックします 通気が遮られていないことを確認します すべてのケーブル等の接続をしっかりと固定します 	
	重要なファイルのCDまたはDVDへのバックアップ (19ページの「データ バックアップ ディスクの作成」を参照してください)	復元ポイントの作成 (43ページの「Microsoftの[システムの復元]」を参照してください)	

コンピュータに関するトラブルの解決方法

このセクションでは、コンピュータの使用時に発生する可能性があるトラブルの解決方法を表で示します。それぞれの表には、次のことが記載されています。


- **トラブル**は、その種類のトラブルの前兆または警告メッセージを示します。
- **解決方法**は、トラブルを解決するための作業内容を示します。

トラブルシューティングの表は、以下の順に記載されています。

- オーディオ
- ビデオ
- CDドライブおよびDVDドライブ
- ディスプレイ(モニタ)
- ハードディスクドライブ
- ハードウェアの取り付け
- インターネット アクセス
- キーボードおよびマウス
- 電源
- パフォーマンス
- その他

モニタのトラブル、またはお使いのプリンタ固有のトラブルについて詳しくは、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。

オーディオ

トラブル	解決方法
音が出ない	キーボードのミュート ボタンを押して、ミュート(消音)機能がオンになっているかどうかを確認します または 1 スタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします 2 [ハードウェアとサウンド]→[システム音量の調整]の順にクリックします 3 消音されているプログラムの[ミュート]ボタンをクリックします
	タスク バーの[音量]アイコン()をクリックするか、キーボードのボタン類を使用して音量を上げます
	電力が供給されている(アクティブな)スピーカの電源が入っていることを確認します
	コンピュータの電源を切り、スピーカを接続しなおします
	スリープ ボタン(一部のモデルのみ)、またはキーボードの[Esc]キーを押して、スリープ モードから復帰します
	パッシブ スピーカ システムをアクティブ スピーカ システム(別売)に交換します。アクティブ スピーカには電源コードと電源ボタンが装備されており、コンピュータのオーディオ出力(緑)コネクタに接続できます
	ヘッドフォンがコンピュータに接続されている場合は、取り外します
特定のオーディオ ファイルを再生すると、コーデックに関するエラーメッセージが表示される	Windows Media Playerでファイルを開きます。Windows Media Playerがコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します <ul style="list-style-type: none"> • 適切なコーデックを入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデック ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります • 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Playerの更新が利用可能かどうかを確認します • 詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを開き、「コーデック」を検索してください

ビデオ

トラブル	解決方法
再生されないビデオ ファイルがある	ファイルが破損しているか、形式がサポートされていない可能性があります。ファイルをビデオ エディタで開いてから、サポートされている形式でファイルを保存しなおします
特定のビデオ ファイルを再生すると、コーデックに関するエラー メッセージが表示される	Windows Media Playerでファイルを開きます。Windows Media Playerがコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します <ul style="list-style-type: none"> 適切なコーデックが入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデック ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Playerの更新が利用可能かどうかを確認します 詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを開き、「コーデック」を検索してください
[ビデオの再生に必要なファイルが見つからないか、壊れています]というエラーメッセージが表示される	<ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選択します 2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします 3 [サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ]の隣のプラス記号(+)をクリックします 4 [TV tuner](TVチューナ)(一部のモデルのみ)を右クリックし、[ドライバソフトウェアの更新]をクリックします 5 [自動的に更新されたドライバ ソフトウェアを検索します]を選択します 6 説明に沿って操作して、ドライバを更新します 7 要求された場合は、コンピュータを再起動します

CDドライブおよびDVDドライブ

トラブル	解決方法
CDドライブまたはDVDドライブがディスクを読み込まない、または起動に時間がかかる	ディスクが、ラベルの面を上にしてトレイの中心に置かれていることを確認します
	ドライブがメディアの種類を判断するまで、少なくとも30秒待ちます
	ディスク クリーニング キットを使用してディスクを清掃します。このキットは、一般のコンピュータ製品販売店で入手できます
CDまたはDVDを取り出せない	ドライブが破損しているか、古くなっている可能性があります。ドライブの復元または更新について詳しくは、42ページの「ドライブの更新」を参照してください
	コンピュータの電源を入れ、ドライブの近くにあるイジェクト ボタンを押して、トレイを開きます
	イジェクト ボタンそのものに問題がある可能性がある場合は、以下の手順で操作します <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします 2 開きたいCDドライブまたはDVDドライブを右クリックします 3 メニューから[取り出し]を選択します

CDドライブおよびDVDドライブ(続き)

トラブル	解決方法
ディスクを作成できない (焼けない)	ディスクが、ラベルの面を上にしてトレイの中心に置かれていることを確認します
	ドライブに対応した種類のディスク(メディア)を使用していることを確認します。別の製造販売元のディスクを試してみます
	清潔で、破損していないディスクを使用します。書き込みセッション中に書き込みが停止した場合、ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを使用してください
	書き込みをするファイルの種類に対応しているディスクを使用します
	CD-Rディスクを使用する時は、音楽を書き込む場合はディスクが空であること、またデータを書き込む場合は、ディスクが空または付加可能(データ ファイルを追加する領域がある)であることを確認します
	ディスクのコピーを作成する場合は、適切な種類のディスクを使用していることを確認します。書き込みプログラムによっては、ソースと同じ種類のディスクにしか書き込めない場合があります。たとえば、DVDを書き込めるのはDVD+R/-Rディスク または DVD+RW/-RWディスクのみ、CDを書き込めるのはCD-RディスクまたはCD-RWディスクのみです
	ディスクを適切なドライブに挿入し、CDまたはDVD書き込みソフトウェアで同じドライブが指定されていることを確認します
	可能な場合は、書き込みを実行するドライブの書き込み速度を低く設定します
	トラックのサイズがディスクの使用可能領域より大きい場合、書き込みソフトウェアを使用してトラックを追加できない場合があります。ファイルをディスクに書き込む前に、リストから1つまたは複数のトラックを削除して、領域を確保することができます
	書き込みを開始する前に、すべてのソフトウェア プログラムおよびウィンドウを閉じます
	ハードディスク ドライブ上に、コンテンツの一時コピーを格納するための十分な領域があることを確認します スタート ボタン → [コンピュータ] の順にクリックします。ハードディスク ドライブを右クリックし、 [プロパティ] を選択して使用可能な領域を表示します
	ネットワーク上で作業している場合は、まずネットワークからハードディスク ドライブにファイルをコピーして、その後でディスクに書き込みます
すべてのプログラムおよびウィンドウを閉じ、コンピュータを再起動します	

CDドライブおよびDVDドライブ(続き)

DVDにデータを追加できない	DVD書き込みソフトウェアで適切なオプション(データ ファイルの付加または追加)を設定していることを確認します
家庭用のステレオで音楽CDを再生できない	<p>CD-RWディスクではなく、CD-Rディスクを使用します</p> <p>別の製造販売元のディスクを使用してみるか、そのディスクがお使いのステレオに対応しているかどうかを確認します。お使いのステレオまたはCDプレーヤに付属の説明書、および製造販売元のWebサイトを参照してください</p> <p>DVDの代わりにCDを使用します。DVDに書き込まれたオーディオ ファイルをお使いのコンピュータで再生することはできますが、DVDに書き込んだ音楽ファイルを家庭用のCDプレーヤで再生することはできません</p> <p>ディスクへ書き込む前に、.mp3または.wmpオーディオ ファイルを.wavまたは.cda音楽ファイルに変換します</p>
CDの音楽トラックのタイトルが表示されない	<p>音楽CDを再生する場合、アーティスト、タイトル、およびトラック情報を表示するには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。この情報は、ディスクには書き込まれません</p> <p>CDによっては、トラック情報を入手できない場合があります</p>
ビデオをキャプチャした時に、エラー メッセージが表示される	お使いのコンピュータにアナログおよびデジタル両方のビデオ キャプチャ デバイスが装備されている場合は、どちらかを選択する必要があります。ビデオ キャプチャ プログラムのヘルプ メニューを参照して、ビデオ デバイスを変更する方法を確認します
家庭用のDVDプレーヤでDVDの動画を再生できない	データ ファイルとしてDVDに書き込まれたビデオ ファイルは、DVDプレーヤでは再生できません。映像を適切に再生できるようにするには、ビデオ書き込みプログラムを使用します。ビデオ ファイルによっては、コンピュータで再生できても、家庭用のDVDビデオ プレーヤでは再生できない場合があります

ディスプレイ(モニタ)

ここに示されている情報の他に、お使いのモニタに付属の説明書も参照してください。

トラブル	解決方法
画面に何も表示されず、モニタの電源ランプが点灯しない	<p>モニタ背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします</p> <p>モニタの前面にある電源ボタンを押します</p>
画面に何も表示されない	<p>キーをどれか押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします</p> <p>スリープ ボタン(一部のモデルのみ)またはキーボードの[Esc]キーを押して、スリープ モードから復帰します</p> <p>電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れます</p> <p>モニタのビデオ コネクタに曲がっているピンがないかどうかをチェックします</p> <ul style="list-style-type: none"> • 曲がっているピンがある場合は、モニタ コネクタ ケーブルを交換します • 曲がっているピンがない場合は、モニタ コネクタ ケーブルをコンピュータに接続しなおします
画面上の画像が大きすぎる/小さすぎる、またはぼやけている	<p>Windowsでモニタの解像度設定を調整します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 デスクトップを右クリックして[個人設定]を選択します 2 [ディスプレイの設定]をクリックします 3 解像度のスライダを調整します

ハードディスク ドライブ

トラブル	解決方法
コンピュータがロックされ応答していないように見える	<p>Windowsの[タスク マネージャ]で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します 2 [タスク マネージャの起動]をクリックします 3 応答していないプログラムを選択して[タスクの終了]をクリックします <p>プログラムを終了しても解決しない場合は、コンピュータを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します 2 シャットダウン ボタンの隣の矢印→[再起動]の順にクリックします <p>この手順を実行しても解決しない場合は、電源ボタンを5秒以上押したままにして、コンピュータの電源を切ります。その後で、電源ボタンを押します</p>
ハードディスク ドライブのエラー メッセージが表示される	<p>キーボードのヘルプ(?)ボタンを押して[Windowsヘルプとサポート]を開くか、16ページの「困ったときは」を参照してサポート窓口にお問い合わせます</p>

ハードウェアの取り付け

トラブル	解決方法
新しいデバイスが、システムの一部として認識されない	<p>デバイスに付属のCDからデバイス ドライバをインストールするか、デバイスの製造販売元のWebサイトからドライバをダウンロードおよびインストールします</p> <p>Windows Vista用に更新されたドライバが必要な場合があります。更新についてはデバイスの製造販売元に直接お問い合わせください</p> <p>HPの周辺機器については、HPのWebサイトをご覧ください。詳しくは、16ページの「困ったときは」を参照してください</p> <p>デバイスがしっかりと適切に接続されており、コネクタのピンが曲がっていないことを確認します</p> <p>すべてのケーブルがしっかりと適切に接続されており、ケーブルのピンが曲がっていないことを確認します</p> <p>コンピュータの電源を切り、外付けデバイスの電源を入れてからコンピュータの電源を入れることで、デバイスをコンピュータに認識させます</p> <p>コンピュータを再起動し、説明に沿って操作してデバイスを認識させます</p> <p>オペレーティング システムでカードの自動設定をキャンセルし、リソースの競合を引き起こさない基本的な構成を選択します</p> <p>デバイスを再構成するか、または無効にしてリソースの競合を解決することもできます</p>
新しいデバイスが動作しない	<p>管理者権限のあるアカウントでログインし、デバイス ドライバをインストールまたはアンインストールする必要があります。ユーザを切り替える必要がある場合は、スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[ユーザの切り替え]の順にクリックします。管理者権限を持つユーザを選択します</p>
新しいデバイスを取り付けたら、デバイスが動作しなくなった	<p>デバイスの競合を解消するには、デバイスのどれかを無効にするか、または古いデバイス ドライバをアンインストールする必要がある場合があります</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選択します 2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします 3 トラブルが発生しているデバイスの隣のプラス記号(+)をクリックし、デバイスのアイコンの近くに黄色い円で囲まれた感嘆符があるかどうかを確認します。感嘆符は、デバイスの競合が発生しているか、またはデバイスで問題が発生していることを示します。感嘆符は、デバイスが正常に動作していない時でも、表示されない場合があります 4 ハードウェア デバイスを取り外してあるが、デバイス ドライバが[デバイス マネージャ]に表示されている場合、これがデバイスの競合の原因となっている可能性があります。古いドライバをアンインストールして、新しいデバイス ドライバを正常に動作させるには、デバイスを右クリックして[アンインストール]→[OK]の順にクリックします 5 デバイスの名前をダブルクリックして[プロパティ]を選択します 6 可能な場合は、[リソース]タブをクリックし、デバイスの競合があることを確認します 7 [全般]タブをクリックし、デバイスが有効で正常に動作しているかどうかを確認します。[トラブルシューティング]ボタンが表示されている場合はクリックし、[device troubleshooter wizard](デバイスのトラブルシューティング ウィザード)で画面の説明に沿って操作します 8 コンピュータを再起動します。スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[再起動]の順にクリックします

インターネット アクセス

トラブル	解決方法
インターネットに接続できない	<p>インターネット設定を確認するか、またはご利用のインターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせます</p> <p>ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピュータには、モデムおよびEthernetネットワーク アダプタ(ネットワーク インタフェース カードまたはNIC (LANボード)とも呼ばれる)が搭載されている場合があります。モデムは、標準の電話回線を使用してダイヤルアップ接続を行います。NICはネットワーク ケーブルを使用してローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続されます。電話回線をNICに接続しないでください。また、ネットワーク ケーブルを電話線に接続しないでください。接続すると、NICが破損する可能性があります</p> <p>インターネット接続について詳しくは、キーボードのヘルプ (?) ボタンを押して [Windowsヘルプとサポート]を開いてください</p> <p>Webブラウザがインストールされ、ご利用のISPに合わせた設定になっていることを確認します</p> <p>後でもう一度接続してみるか、またはご利用のISPに問い合わせます</p>
インターネット プログラムを自動的に起動できない	<p>ご利用のISPにログインしてから、必要なプログラムを起動してみます</p>
Webページの読み込みが遅い	<p>適切なモデム速度およびCOMポートが選択されていることを確認します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします 2 [ハードウェアとサウンド]をクリックします 3 [電話とモデムのオプション]をダブルクリックします 4 [モデム]タブ→[プロパティ]ボタンの順にクリックします 5 [デバイスの状態]領域で、モデムが正常に動作していることを確認します <p>Webページは、コンピュータに格納されているファイルほど速く読み込まれない場合があります。また、Webサイトへのアクセスが集中した場合にも、Webページの読み込みは遅くなります</p>

インターネット アクセス(続き)

トラブル	解決方法
<p>インターネット ブラウザのホーム ページが別のページ になってしまった</p>	<p>お使いのコンピュータにスパイウェアが侵入している可能性があります。スパイウェアは通常、コンピュータのバックグラウンドで実行され、ユーザやコンピュータの使用に関する情報を収集し、インターネット上の他の人物またはシステムに送信します</p> <p>スパイウェアは、Windows Defenderなどのさまざまなスパイウェア対策ソフトウェア プログラムのうちどれかを使用して、検出および削除できます</p> <p>Windows Defenderを使用してスパイウェアをスキャンするには、以下の手順で操作します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[Windows Defender]の順にクリックします 2 [スキャン]をクリックします <p>よく知られているウイルス対策プログラムの多くにも、コンピュータからスパイウェアをスキャンし、削除するツールが含まれています</p> <p>コンピュータへのスパイウェアの侵入を防ぐために、以下の点に注意してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 信頼できる企業のプログラムであるかどうかを確認できない場合は、インストールしないでください。企業のWebサイトで、プログラムに何が付属しているかをよく確認してください ● ダウンロード ウィンドウで、コンピュータへプログラムをインストールするか確認された時に、すぐに[はい]をクリックしないようにしてください。ウィンドウに表示されたメッセージを読み、本当に必要なソフトウェア プログラムであることを確認してください
<p>インターネットに接続した時に、コンピュータに不要なポップアップ広告が表示される</p>	<p>これは通常、アドウェアまたは広告ソフトウェアによって引き起こされます</p> <p>ポップアップをブロックするようにWebブラウザを設定できます (Internet Explorer では[ツール]→[ポップアップ ブロック]の順にクリックします)</p> <p>コンピュータからアドウェアを削除するには、一部のモデルのコンピュータに搭載されているスパイウェア/アドウェア対策プログラムを使用するか、アドウェア プログラムを削除できるその他のソフトウェア プログラムを使用します</p> <p>よく知られているウイルス対策プログラムの多くにも、コンピュータからアドウェアをスキャンし、削除するツールが含まれています</p>

キーボードおよびマウス

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピュータに認識されない	マウスを使用してコンピュータの電源を切り、キーボードをコンピュータの背面に接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます
キーボードの印刷ボタンが機能しない	プログラムの[印刷]メニュー項目(通常は[ファイル]メニューにあります)を使用します
ワイヤレス キーボードが動作しない、または検出されない	<ul style="list-style-type: none"> • キーボードがレシーバの受信範囲内にあることを確認します • ワイヤレス キーボードの電池を交換します • キーボードに付属の説明書を参照します
ワイヤレス マウスが動作しない、または検出されない	<ul style="list-style-type: none"> • マウスがレシーバの受信範囲内にあることを確認します • ワイヤレス マウスの電池を交換します • マウスに付属の説明書を参照します
カーソルがマウスの動きに反応しない	<p>キーボードを使用してコンピュータを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キーボードの[Alt]および[Tab]キーを同時に押し、開いているアプリケーションに移動します 2 キーボードの[Ctrl]および[S]キーを同時に押し、表示されているアプリケーションで行った変更を保存します(ほとんど(すべてではありません)のアプリケーションで、[Ctrl]+[S]は、保存を行うためのキーボード コマンドです) 3 開いているすべてのアプリケーションで変更を保存したら、キーボードの[Ctrl]および[Esc]キーを同時に押し、[スタート]メニューを表示します 4 矢印キーを使用してロック ボタンの隣の矢印ボタンを選択します。[シャットダウン]を選択してキーボードの[Enter]キーを押します 5 シャットダウンが完了したら、マウス コネクタをコンピュータの背面に接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます
マウスの動きに対するカーソルの反応が遅い	マウス パッドまたは表面が粗いものをマウスの下に敷きます ボール式マウスを使用している場合は、ボールを清掃します
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	[Num Lock]キーを押します。テンキーの矢印キーを使用する場合は、[Num Lock]ランプが消えている状態にします
カーソルが垂直方向または水平方向にしか移動しない(または画面上を滑らかに移動しない)	マウスの底面からボール カバーを反時計回りに回転させて取り外し、ボールを取り出して、軽く湿らせた毛羽立たない柔らかい布で清掃します(紙は使わないでください)。ボールが動く時に接するローラーも清掃します

キーボードおよびマウス(続き)

トラブル	解決方法
マウスが動作しない、または検出されない	マウス ケーブルをコンピュータから抜き、接続しなおします それでもマウスが検出されない場合は、コンピュータの電源を切り、マウスケーブルを接続しなおしてから、コンピュータを起動しなおします
オプティカル マウスでカーソルをうまく動かせない	マウスをマウス パッドまたは白い紙の上に置くか、マウス底面の光センサのレンズを、毛羽立たない柔らかい布で軽く拭きます(紙は使わないでください)
カーソルの動きが速すぎる、または遅すぎる	カーソルの速度を調節します 1 スタート ボタン→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]の順にクリックします 2 [ポインタ オプション]タブをクリックします 3 モーション スライダーを[遅く]または[速く]の方向に動かして、ポインタ(カーソル)がマウスの動きに反応する速度を上げるか下げます 4 [OK]をクリックします

電源

トラブル	解決方法
<p>コンピュータの電源が入らない、または起動しない</p>	<p>コンピュータを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します</p> <p>コンピュータを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピュータ背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、16ページの「困ったときは」を参照してサポート窓口にお問い合わせください</p> <p>ディスプレイ(モニタ)に何も表示されない場合は、モニタが正しく接続されていない可能性があります。モニタ コネクタをコンピュータに接続してしっかりと差し込み、電源を入れます。32ページのディスプレイ(モニタ)のトラブルシューティングの項目を参照してください</p> <p>線間電圧の選択スイッチを、お住まいの国/地域に合わせて適切に設定します。または、16ページの「困ったときは」を参照してサポート窓口にお問い合わせください</p> <p>電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします</p> <p>対応していないメモリ(RAM)が取り付けられている可能性があります。古いメモリに交換することで、コンピュータを元の状態に戻します。手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください</p> <p>ハードディスク ドライブのデータ ケーブルと電源ケーブルを接続しなおします。手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください</p>
<p>無効なシステム ディスク、非システム ディスク、またはディスク エラーに関するメッセージが表示される</p>	<p>ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、スペース キーを押します。これで、コンピュータが起動します</p>
<p>電源 ボタンを押してもコンピュータの電源が切れない</p>	<p>コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします</p>
<p>コンピュータが自動的にシャットダウンする</p>	<p>コンピュータが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピュータを冷却します</p> <p>コンピュータの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。コンピュータによっては、内部ファンがない場合もあります</p>
<p>コンピュータの日付および時刻表示が間違っている</p>	<p>リアルタイム クロック(RTC)のバッテリーを交換する必要があります。バッテリー寿命は約7年です</p> <p>バッテリーを交換する前に、[コントロール パネル]でオペレーティング システムの日付と時刻を設定します。問題が解決しない場合は、バッテリーを交換します。バッテリー交換の手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください</p>

パフォーマンス

トラブル	解決方法
アプリケーションおよびファイルの起動や反応に時間がかかる	<p>コンピュータに複数のユーザ アカウントを作成してある場合は、他のユーザがログインしていないことを確認します。一度に複数のユーザがログインしている場合、システムのリソースがユーザ間で共有されます</p>
	<p>ディスク クリーンアップ プログラムを実行して、不要なファイル(インターネット一時ファイル、使用しないコンポーネントやプログラム、ごみ箱内のファイルなど)をハードディスクドライブから削除します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順にクリックします 2 クリーンアップを実行するドライブを選択します 3 表示されたファイルの種類のうち、削除するファイルの隣のチェック ボックスにチェックを入れます 4 [OK]→[はい]の順にクリックして、ファイルを完全に削除します
	<p>ディスク デフラグ プログラムを実行して、ハードディスク ドライブ上の断片化されたファイルをグループ化し、コンピュータの処理速度を上げます。このプログラムを実行しても、コンピュータ上のファイルおよびフォルダの場所には影響はありません</p> <p>注: ディスク デフラグ プログラムは、完了までに時間がかかる場合があります。夜間に実行することをおすすめします</p> <p>ディスク デフラグ プログラムを実行するには、以下の手順で操作します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します 2 [タスク マネージャの起動]をクリックします 3 [アプリケーション]タブで、表示されているすべてのプログラムを選択し、[タスクの終了]をクリックします 4 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ ツール]の順にクリックします 5 [最適化する]をクリックします
	<p>使用していないプログラムを削除します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします 2 [プログラムのアンインストール]をクリックします。[プログラムと機能]ウィンドウが開きます 3 削除するプログラムを選択し、[アンインストール]をクリックします 4 画面の説明に沿って操作します
	<p>ハードディスクドライブ エラーをチェックします</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開いているプログラムおよびウィンドウをすべて閉じます 2 スタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします 3 チェックするハードディスクドライブを右クリックして[プロパティ]をクリックします 4 [システムのプロパティ]ウィンドウで[ツール]タブをクリックします 5 [エラー チェック]で[チェックする]をクリックします 6 必要な場合は、[ファイル システム エラーを自動的に修復する]および[不良セクタをスキャンし、回復する]の隣のボタンを選択します 7 [開始]をクリックします。再起動を要求された場合は、[はい]をクリックしてコンピュータを再起動します

その他

トラブル	解決方法
[メモリ不足です]というメッセージが表示される	開いているすべてのプログラムを閉じて、行っていた操作を再度実行するか、コンピュータを再起動します(スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[再起動]の順にクリックします)。再度メッセージが表示される場合は、メモリの購入および増設を検討してください
リモート センサが、リモート コントロールからの信号を受信しない(一部のモデルのみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選択します 2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします 3 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の隣のプラス記号(+)をクリックします 4 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に[eHome Infrared Receiver]が表示されている場合、Windowsは赤外線レシーバを正常に検出しています。表示されていない場合は、次の手順に進みます 5 リモート センサのUSBケーブルの一方の端をコンピュータから抜き、同じUSBポートに差し込みます 6 リモート センサは差し込んだままにして、他のすべてのUSBデバイスを取り外し、コンピュータを再起動します。[デバイス マネージャ]ウィンドウにリモート センサが表示されたら、他のUSBデバイスを差し込みます
メモリ カード リーダ(一部のモデルのみ)が、使用しているメモリ カードを読み込めない	使用中であることを示すランプが点滅している時は、メモリ カードの挿入または取り出しは行わないでください。これを行うと、データが消失したり、カード リーダが損傷して修復できなくなったりする場合があります
	カードによっては、読み取り/書き込みスイッチまたはセキュリティ スイッチが付いています。データを書き込む前に、カードのスイッチが書き込み可能に設定されていることを確認します
	保管しようとしているデータ量が、カードの記憶可能領域を超えていないことを確認します
	メモリ カードがサポートされている種類(CompactFlash(I, II、およびMicrodrive)、メモリ スティック、メモリ スティックPRO、マルチメディア カード、SecureDigital(SD)カード、SmartMediaカード、xDピクチャ カードなど)であることを確認します。一部のモデルでは、その他の種類もサポートしている場合があります
	メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します
メモリ カードの接続部分に、穴や金属端子を塞いでいる汚れやごみがないかどうかをチェックします。軽く湿らせた、毛羽立たない柔らかい布で端子を清掃します。必要に応じて、メモリ カードを交換します	

ソフトウェアの問題の修復

お使いのコンピュータでは、通常の動作中、オペレーティング システムおよびインストールされたソフトウェア プログラムが使用されます。ソフトウェアが原因でコンピュータが正常に動作しない、または停止する場合、その問題を修復できることがあります。

ソフトウェアの修復には、コンピュータの再起動だけで済む簡単なものもあれば、ハードディスク ドライブ上のファイルからシステムの復元を実行する必要があるものもあります。

お使いのコンピュータのハードディスク ドライブには、工場出荷時にインストールされたすべてのソフトウェア ファイルを含む、システムのリカバリ イメージが含まれています。システムを復元する必要がある場合、リカバリ イメージを使用すると作業が簡単になります。

ハードディスク ドライブにあるシステム リカバリ イメージには、必要な情報がすべて含まれているため、リカバリ ディスクは同梱されていません。

バックアップとして、以下のことを行えます。

- 19ページの「システム リカバリ ディスクの作成」の説明に沿って操作することで、リカバリ イメージから独自のシステム リカバリ ディスクを作成できます。
- HPのサポート窓口にお問い合わせ、システム リカバリ ディスクのセットを購入できます。

注:コンピュータの修復は、このマニュアルに示されている順番で行ってください。

ソフトウェアの修復の概要

このセクションには、ソフトウェアのトラブルが発生した場合に、コンピュータを修復する方法を示します。各方法については、これに続くセクションで詳しく説明します。作業は、ここに示されている順番で実行する必要があります。

- コンピュータの再起動
- コンピュータの電源切断
- ドライバの更新
- Microsoftの[システムの復元]
- アプリケーション リカバリおよびドライバリカバリ
- システム リカバリ

注:ハードディスク ドライブを交換する場合は、システム リカバリを実行するだけで済みます。

コンピュータの再起動

再起動は、最も簡単なコンピュータの修復方法です。コンピュータを再起動すると、オペレーティング システムおよびソフトウェアがメモリに再び読み込まれます。

コンピュータを再起動するには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムおよびウィンドウを閉じます。
- 2 スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[再起動]の順にクリックします。



コンピュータの電源切断

コンピュータの電源を切ってから再度電源を入れると、オペレーティング システムがメモリに再び読み込まれます。これにより、残っていた情報が一部消去されます。コンピュータを再起動しても問題が解消されない時は、この操作を行うことで解消できる場合があります。

コンピュータの電源を切るには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムおよびウィンドウを閉じます。
- 2 スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[シャット ダウン]の順にクリックします。



- 3 電源ボタンを押して、コンピュータを起動します。

ドライバの更新

ドライバはプリンタ、ハードディスク ドライブ、マウス、キーボードなどの接続されたデバイスとコンピュータのやり取りを可能にするソフトウェア プログラムです。

ドライバを更新するには、また、新しいドライバで問題が解決されない場合にドライバの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。

- 1 スタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選択します。



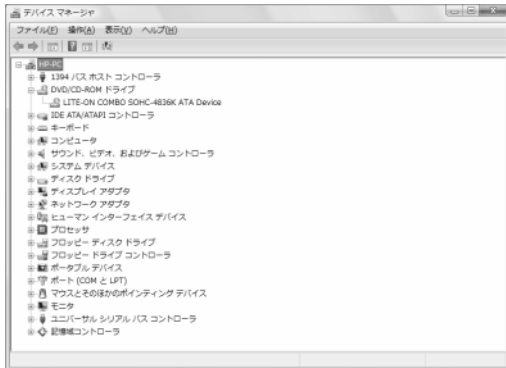
- 2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 3 [続行]をクリックします。

- 4 プラス記号(+)をクリックして、ドライバを更新または元に戻すデバイス([DVD/CD-ROMドライブ]など)を展開します。



- 5 目的の項目を右クリックし、[ドライバ ソフトウェアの更新]を選択します。

注:お使いの機種により、表示が異なる場合があります。



- 6 ドライバを検索する方法を選択し、画面の説明に沿って操作します。



Microsoftの[システムの復元]

Windows Vistaには、コンピュータの構成を、現在のソフトウェアの問題が発生する以前の構成に復元できる機能が含まれています。この機能は、その時点のコンピュータの設定を記録する「復元ポイント」を作成することで、実行されます。

新しいプログラムがインストールされる時、インストール処理の前に、オペレーティング システムにより自動的に復元ポイントが作成されます。これは手動で設定することもできます。

コンピュータ上のソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元]を使用して、コンピュータを以前の復元ポイントに戻します。

警告:システム リカバリ プログラムを使用する前に、必ずシステムの復元を実行してください。

システムの復元を行うには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 スタート ボタン→[すべてのプログラム] →[アクセサリ] →[システム ツール] →[システムの復元]の順にクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 3 [続行]をクリックします。

4 [次へ]をクリックします。



5 画面の説明に沿って操作します。

手動で復元ポイントを追加するには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 スタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。



3 [検索]ボックスに「システム」と入力し、[システム]をクリックします。



4 [システムの保護]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

5 [続行]をクリックします。

6 [自動復元ポイント]で、復元ポイントを作成するディスクを選択し、[作成]をクリックします。



7 画面の説明に沿って操作します。

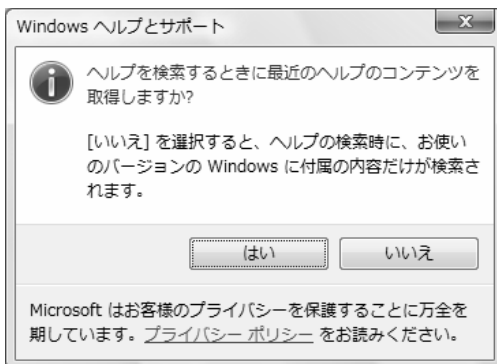
ソフトウェアの復元ポイントについて詳しく調べるには、以下の手順で操作します。

1 スタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックします。



[Windowsヘルプとサポート]が表示されます。

2 以下のダイアログが表示された場合は、[はい]または[いいえ]をクリックします。



3 [検索]ボックスに「システムの復元」と入力し、[検索]をクリックします。



ソフトウェア プログラムおよびハードウェア ドライバの再インストール

工場出荷時にインストールされたソフトウェア プログラムまたはハードウェア ドライバが破損した場合は、Recovery Manager (リカバリ マネージャ) プログラムを使用してそれらを再インストールできます。(一部のモデルのみ)

注: お使いのコンピュータにこのプログラムがインストールされているかどうかを確認するには、以下の手順3を実行します。Recovery Managerプログラムがコンピュータの[PCヘルプとツール]フォルダに表示されている場合、プログラムはコンピュータにインストールされています。

注: コンピュータに同梱されているCDまたはDVDからインストールしたソフトウェア プログラムの再インストールには、Recovery Managerプログラムを使用しないでください。これらのプログラムはCDまたはDVDから直接再インストールしてください。

ソフトウェア プログラムまたはハードウェア ドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 すべてのアプリケーションおよびフォルダを閉じます。
- 2 破損したアプリケーションをアンインストールします。
 - a スタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。



- b [プログラム]で[プログラムのアンインストール]をクリックします。

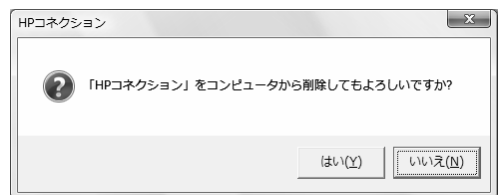


- c 削除するプログラムを選択して[アンインストール]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- d [続行]をクリックします。
- e アンインストールの手順を続行する場合は[はい]をクリックします。



- 3 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[Recovery Manager]の順にクリックします。



- 4 画面の説明に沿って操作します。
- 5 リカバリ作業が完了したら、コンピュータを再起動します。



警告:最後の手順を省略しないでください。ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバのリカバリが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

システム リカバリの概要

これまでに説明したコンピュータの修復方法を試した後で、工場出荷時のオペレーティング システム、ソフトウェアプログラム、およびハードウェアドライバを再インストールする最後の手段として、システム リカバリを実行できます。

システム リカバリを実行すると、以下のようになります。

- **システム リカバリ:**ハードディスク ドライブの内容を完全に消去し、フォーマットします。これにより、これまでに作成したすべてのデータ ファイルも削除されます。システム リカバリにより、オペレーティング システム、プログラム、およびドライバが再インストールされます。ただし、工場出荷時にコンピュータにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピュータに同梱されているCDからインストールしたソフトウェア、およびコンピュータ購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

注:お使いのコンピュータでHP Personal Media Drive を使用している場合は(一部のモデルのみ)、システム リカバリ プログラムを起動する前に取り外しておく必要があります。

また、システム リカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- **リカバリ イメージ:**ハードディスク ドライブに格納されているリカバリ イメージからリカバリを実行します。リカバリ イメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。ハードディスク ドライブ上のリカバリ イメージからシステム リカバリを実行するには、49ページの「ハードディスク ドライブからのシステム リカバリの実行」を参照してください。

注:リカバリ イメージは、ハードディスク ドライブの、データ保存に使用できない領域を使用します。

- **リカバリ ディスク:**ハードディスク ドライブに格納されているファイルから作成したリカバリ ディスク (CDまたはDVD)のセットから、システム リカバリを実行します。リカバリ ディスクを作成するには、以下の項目で説明する手順を実行します。

リカバリ ディスクの作成

このセクションで説明する手順を実行して、ハードディスク ドライブに格納されているリカバリ イメージから、リカバリ ディスクのセットを作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピュータにインストールされていたオペレーティング システムおよびソフトウェアプログラムのファイルが含まれています。

お使いのコンピュータで作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。作成したリカバリ ディスクは、お使いのコンピュータでのみ使用できます。

リカバリ ディスクを作成した後、ハードディスク ドライブの使用可能領域を増やしたい場合は、リカバリ イメージを削除できます。

注:リカバリCDまたはDVDを作成していない場合は、リカバリ イメージを削除しないでください。

リカバリ ディスクのメディアの選択

リカバリ ディスクをCDではなくDVDで作成すると、以下の利点があります。

- DVDはCDよりも容量が大きいので、記録や格納に必要なディスクが少なく済みます。
- DVDのリカバリ ディスクは、CDのリカバリ ディスクと比べて作成に時間がかかりません。

リカバリ ディスクを作成するには、コンピュータに、CD/DVD書き込みドライブ、またはCD/DVDに書き込み可能なその他のドライブが搭載されている必要があります。

リカバリ ディスクに使用されるディスクの数は、お使いのコンピュータのモデルによって異なります。ディスクを作成するプログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。この作業は、ディスクに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。

作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行する時は、中止した場所から再開されます。

システム リカバリ ディスクを作成するには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[システムのリカバリディスクを作成]の順にクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 3 [続行]をクリックします。

[Recovery Manager]ウィンドウが表示されます。

- 4 [次へ]をクリックします。



- 5 空のディスク(CDまたはDVD)を必要枚数用意し、最初の1枚を挿入し、[次へ]をクリックします。



- 6 [次へ]をクリックします。



リカバリ ディスクの作成が開始されます。

- 7 複数枚のディスクに書き込む場合は、ディスクが作成されたらそのディスクを取り出し、次のディスクを挿入して[次へ]をクリックします。



次のディスクの作成が開始されます。

- 8 ディスクが作成されたらディスクを取り出し、[次へ]をクリックします。



- 9 [終了]をクリックします。



作成したリカバリ ディスクにはラベル(リカバリ1、リカバリ2など)を付け、安全な場所に保管してください。

システム リカバリのオプション

システム リカバリは以下の順序で実行する必要があります。

- スタート メニューから
- 起動中に[F11]キーを押す
- 作成したリカバリ ディスクから
- HPのサポート窓口で購入したリカバリ ディスクから

リカバリ ディスクを購入するには、<http://www.hp.com/support/> にアクセスし、ソフトウェアおよびドライバのダウンロード ページでお使いのコンピュータのモデルを検索します。

ハードディスク ドライブからのシステム リカバリの実行

ハードディスク ドライブ上のリカバリ イメージからソフトウェアを再インストールするには、次のどちらかの方法があります。

- スタート メニューからシステム リカバリを開始する
- システムの起動中にシステム リカバリを開始する

スタート メニューからのシステム リカバリの開始

- 1 コンピュータの電源を切ります。お使いのコンピュータでHP Personal Media Driveを使用している場合は取り外します。モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器(USB接続機器、プリンタなど)は、コンピュータからすべて取り外してください。コンピュータの電源を入れます。

- 2 スタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[Recovery Manager]の順にクリックします。



[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 3 [続行]をクリックします。

[Recovery Manager]ウィンドウが表示されます。

- 4 [アドバンスドオプション]をクリックします。



- 5 [システムリカバリ]を選択し、[次へ]をクリックします。



コンピュータが再起動します。



警告: システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

- 6 [次へ]をクリックします。

「Microsoftシステム復元機能を実行しますか？」と表示されます。

- 7 [いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

「システムリカバリを実行しますか？」と表示されます。

- 8 [はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

- 9 [ファイルを最初にバックアップしてください]または [ファイルをバックアップせずに復元する]を選択し、[次へ]をクリックします。

システム リカバリが開始されます。

- 10 システム リカバリが終了したら[終了]をクリックします。

コンピュータが再起動します。

- 11 コンピュータの起動および登録作業を完了させ、デスクトップが表示されるまで待ちます。その後コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます。

システム起動中のシステム リカバリの開始

- 1 コンピュータの電源を切ります。必要であれば、コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。

- 2 お使いのコンピュータでHP Personal Media Drive を使用している場合は取り外します。コンピュータから、モニター、キーボード、およびマウス以外のすべての周辺機器を取り外します。

- 3 電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れます。

- 4 起動中にHP Inventのロゴが表示されたら、キーボードの[F11]キーを押します。(通常の起動プロセスが再開されるまでに、[F11]キーを押せる時間は数秒のみです。)

リカバリ マネージャ プログラムが開始されます。

- 5 画面に説明が表示されたら、その説明に沿って操作します。



警告: システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

- 6 コンピュータの起動および登録作業を完了させて、デスクトップが表示されるまで待ちます。その後コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます。

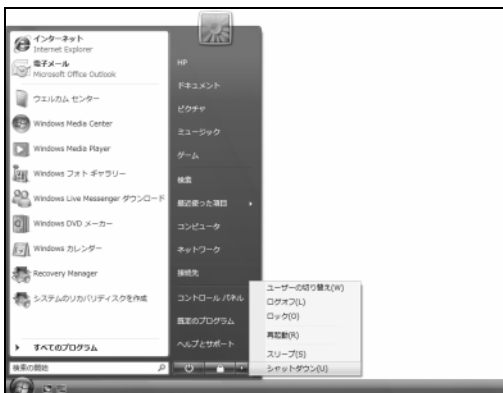
リカバリ ディスクからのシステム リカバリの実行

このセクションでは、「システム リカバリ ディスクの作成」の説明に沿って作成したリカバリ ディスクからシステム リカバリを実行する手順について説明します。

リカバリ ディスクを使用してシステム リカバリ プログラムを実行するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータ ファイルをCDまたはDVDにバックアップします。完了したら、ディスク トレイからバックアップ ディスクを取り出します。
- 2 リカバリ ディスク#1を、適切なドライブ トレイ(CDまたはDVD)に挿入し、トレイを閉じます。
- 3 コンピュータが動作している場合は、**スタート ボタン**→**ロック ボタンの隣の矢印ボタン**→**[シャットダウン]**の順にクリックします。

コンピュータが応答していない場合は、コンピュータの電源が切れるまで、約5秒間電源ボタンを押したままにします。



- 4 コンピュータから、モニター、キーボード、およびマウス以外のすべての周辺機器を取り外します。
- 5 すべての外付けドライブを取り外し、お使いのコンピュータでHP Personal Media Driveを使用している場合は、これも取り外します。
- 6 電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます。リカバリ ディスクからリカバリが開始されます。
- 7 画面に説明が表示されたら、その説明に沿って操作します。



警告: システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

- 8 次のディスクを要求された場合は、ディスクを挿入します。
- 9 リカバリ マネージャが終了したら、最後のディスクを取り出します。
- 10 **[完了]**をクリックします。

コンピュータが再起動し、一連の起動画面が表示されます。Microsoft Windowsの初期セットアップを行う場合は、いくつかの質問に回答する必要があります。
- 11 コンピュータの起動および登録作業を完了させて、デスクトップが表示されるまで待ちます。その後コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます。
- 12 工場出荷時にコンピュータにインストールされていなかったソフトウェアを再インストールします。
- 13 バックアップ ディスクから、ハードディスク ドライブにデータ ファイルをコピーします。

